

- ◇家族面談会
- ◇クリスマス会
- ◇思い出写真展
- ◇芋掘り交流会...etc

<http://www.akita-kouraku.jp/>



～家族面談会より～

深く肩を寄せ合いながら

森幸園だより

# 広報やまね

発行／社会福祉法人交楽会 森幸園

住所／〒018-4515

秋田県北秋田市阿仁前田字菅ノ沢73

TEL/0186-75-2141

FAX/0186-75-3217

## 職員募集

### ○生活支援員 3名

利用者の日常生活全般の支援

※詳細については、お問い合わせ下さい

問い合わせ先 障害者支援施設 森幸園

電話 0186-75-2141

担当 久留島 誠

原木しいたけの販売が始まりました！

原木しいたけは100g = 100円での販売価格となります。  
下記、注文・連絡先に問い合わせのうえ、ご購入下さい。

”お知らせです”

例年販売している比内地鶏（正肉）については、  
お陰様で**完売**致しましたのでご承知おき下さい。

注文・連絡先 〒018-4515

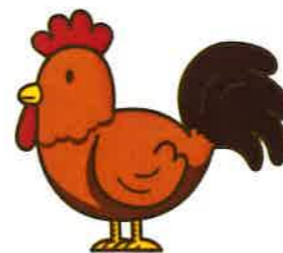
秋田県北秋田市阿仁前田字菅ノ沢73

指定障害者支援施設 森幸園

TEL:0186-75-2141

FAX:0186-75-3217

携帯番号：080-6048-1099





# クリスマス会

Happy Merry Xmas

12月23日。思いやり自治会主催による『クリスマス会』が一足先に盛大に行われました。昨年好評だった“大道芸人マッキー”さんを今年もスペシャルゲストとして招き入れ、数々のパフォーマンスを余興で披露してくれました。ジャグリングやけん玉、皿回しなどの大技が次々に繰り広げられ、成功を収める度に会場からは大きな拍手と歓声が上がっていました。マッキーさんが「披露した芸に皆さんが反応してくれることがパフォーマーとして何より嬉しいです」と言葉を述べ、最後は会場の全員で『赤鼻のトナカイ』と『ジングルベル』を大合唱。歌に踊り、涙ありの忘れられない一日となりました。



# 家族面談会

新型コロナウイルスの影響により、約3年間に渡り中止を余儀なくされてきた『家族交流会』ですが、少しずつ規制緩和の動きが見られるのを受け、陰性証明書提示などの一定の条件付きではありましたが、令和4年10月24日に面談という形で御家族の方を迎え実施することが出来ました。



午前10時。この日を今か今かと待ちわびていた御家族が次々と来園し、森幸園訓練作業室において面談会が開かれました。面談会では、利用者の皆さんの園での生活や御家族の皆さんの要望等を聞き入れ、各担当者と話し合いをしながら和やかな雰囲気で行われました。話し合いが終わった後はフリータイムの時間が設けられ、これまで直接肌で触れ合える機会が無かった分、利用者ご本人と何枚も写真を撮られる方、肩を寄せ合って話をする方、または手を繋いで一緒に園の周囲を散歩する方など、各々で心行くまでスキンシップを図っていました。

長らく途絶えていた交流会の代替えとして行なわれた面談会ですが、利用者の皆さんと御家族との久しぶりの再会に、強い絆を感じられた貴重な、素晴らしい一日となりました。





# 思い出写真展 Vol.2



# 思い出写真展 Vol.1

8月末から9月上旬のコロナ感染に伴い、随時予定されていた日帰りは予定を延期し、また一泊旅行は中止をして日帰り旅行に代替えて実施しました。それでも利用者の皆さんにおいて外出は特別なもので、外出先では様々な表情を見せてくれました。どうぞご覧ください！





## 寄付金を最大限に！

11月1日。県看護協会北秋田地区支部の五代儀支部長が森幸園を訪れ、赤石理事長へ10万円を寄付する目録を手渡しました。森幸園では初であり、理事長は「感染症対策に役立てたい」とお礼を述べておりました。園では早速ポータブルトイレの他、パルスオキシメーターを購入し、最大限活用しています。



渡邊さんの話を聞く利用者の皆さん

森幸園では毎年、利用者の皆さんを対象に交通ルールの勉強会を実施しています。爽やかな秋晴れの下、北秋田警察署交通課の渡邊さんと高齢者安全安心アドバイザーの小坂さん・米倉さんを招き入れ交通安全について教えて頂きました。「道路に潜む危険」と題した映像を視聴したのち、中庭に移動して実際に横断歩道を渡って、渡り方や注意する点を学び、渡邊さんからは「横断歩道の手前では立ち止まり、左を見て、右を見て、また左を見てか



ら手を挙げて渡りましょう」とアドバイスを受け、利用者の皆さんは手順を守って渡っていました。



実際の横断歩道を渡る利用者

## 横断歩道は手を挙げて！ 秋の交通安全教室

森幸園では毎年、利用者の皆さんを対象に交通ルールの勉強会を実施しています。

爽やかな秋晴れの下、北秋田警察署交通課の渡邊さんと高齢者安全安心アドバイザーの小坂さん・

## 森幸園より心を込めて・・・

12月19日、秋田県社会福祉会館で行われた『私たちも参加しよう募金取りまとめ会・贈呈式』に森幸園・高橋潤子会長が職員と共に参加し募金を届けて来ました。会場では少し緊張した面持ちの高橋会長でしたが、集まった募金額26,744円の入った手作りの募金箱を「どうぞ、受け取って下さい」と



募金を手渡し言葉を交わす高橋会長

堂々と心を込めて代表者に手渡していました。今年もコロナ禍であり、参加施設は少なかったが、「また参加したい」と高橋会長は次年度へ意欲を見せていました。

## 善意・寄付

- 県看護協会北秋田支部 様
- 竹田 勇人 様
- 庄司 直友 様
- フラワーショップ荒川 様

※令和3年度決算状況はホームページにも掲載しております。  
<http://www.akita-kouraku.jp>

## いもほり交流会



10月17日。天候にも恵まれたこの日、5月の苗植えを経て前田保育園児との芋掘り交流会が実施されました。この日を待ちわび、約5か月ぶりの再開に利用者や園児からは笑顔が見られ、利用者からは「久しぶりだね」と言葉を掛ける姿が見られました。芋掘り作業で

は互いに「大きいのいっばいある」などの声がかかれ、大収穫に満足していました。最後は全員でおやつを食べ、来年また会う約束を交わしていました。



地鶏三昧に舌鼓する利用者



## 愉快・痛快・たんぽ会

11月18日。森幸園やもりの郷の利用者が一堂に会し、恒例の『たんぽ会』が訓練作業室で行われました。

例年であれば新米のきりたんぼですが、今年は趣向を変えて『比内地鶏』をふんだんに使った炊き込みご飯が振る舞われ、また。他にも鶏の唐揚げや特製スープなど、正に鶏三昧。利用者の皆さんはいつもと違ったこの豪華なメニューに舌鼓していました。食事が終わった後は余



地鶏三昧に舌鼓する利用者



カラオケで大盛り上がり！

興の開幕。歌に踊りに会場のボルテージは最高潮。歌に合わせて踊り出す利用者もいれば、我先にとカラオケを楽しむ利用者など、みんなで年に一度の催しを存分に味わい、楽しんでいました。



大ハッスルの踊り